

令和4年度 高知県立山田特別支援学校 学校運営協議会記録

<委員>

西村 享子(赤十字奉仕団香美市地区奉仕団長)
城 友季子(山田特別支援学校保護者) *欠席
岩崎 佐恵(山田特別支援学校保護者)
濱田 賢二(障害者支援施設白ゆり施設長)
田上 豊資(高知県中央東福祉保健所保健監)
徳弘 博国(香美市社会福祉協議会生活相談センター香美所長)
秋友 英稔(土佐山田町手をつなぐ親の会会長)
白川 景子(香美市教育長)
岡田 哲夫(高知県知的障害者育成会理事)
高橋 信司(山田特別支援学校長)

令和4年度 第1回学校運営協議会

- 1 開催日時 令和4年7月5日(火) 10:40~12:00 *授業見学は台風で休校のため中止
- 2 場 所 山田特別支援学校 校長室
- 3 議 事 (1)挨拶(会長)
(2)学校運営協議会委員について
(3)令和3年度の学校経営の報告について
(4)令和4年度の学校概要及び学校経営について
(5)意見交換
(6)その他
(7)挨拶(学校長)

4 議事概要

(1)学校運営協議会委員について

○今年度から学校長に高橋信司が着任

本日は、香美市教育長白川委員が出席できないため、教育次長秋月氏が代理出席

(2)令和3年度の学校経営の報告について

○副校長より説明(資料 P5)

・否定的評価をどうするのか。

・コロナ禍であったが、地域の清掃活動や物品販売に取り組んだ。

・保護者からは、特別支援教育について話し合いができる場がほしいとの要望あり。コロナ禍で

保護者と学級担任が話をする場が少なくなっている。今年度から携帯アプリ「すぐーる」を活用し、その中の「タイムライン」に学校の取組の様子の写真を掲載し、保護者に知ってもらうようにしている。

- ・ICTの活用については、他校の話を知ると、本校は活用が進んでいるようである。だが、現状に満足することなく、研修を積んで、教員のスキルを向上させ授業を充実させていく。また、不登校生徒への支援にICTを活用し、学びの保証ができるように考えている。
- ・働き方改革については、業務的に忙しいのが現状である。今年度も長時間勤務が45時間を超えた教員が1名いる。今年度から変形労働時間制の導入が始まり、本校でも4名の教員が活用している。
- ・スピード感をもって、変えていけるところは変えていけるようにする。

〈質問〉特になし

(3) 令和4年度の学校概要及び学校経営について

○副校長より説明(資料 P6~8)

○校長より「令和4年度学校経営計画・学校評価シート」説明(資料 P9)

(4) 意見交換

〈秋友委員〉高知しんほんまち分校は日高特別支援学校の分校とのこと。生徒数はどのくらいか。

〈高橋校長〉定員は、一学年、中学部6名、高等部16名。今年度は中学部の在籍者はいない。高等部生13名。その中には香南市の生徒が何名かいると聞いている。

〈徳弘委員〉4,5年前、報道で特別支援教育に対する保護者の期待が高まり、生徒数も増え、教室も増設しなければならないと聞いた。インクルーシブ教育で普通学校の特別支援教育を充実させるために山田特別支援学校はセンター的役割を担うと聞いていたが、特別支援学校の人数は増えている。依然として専門的な教育への期待はあるのかと思われるが、反面、今年度の山田特別支援学校の寄宿舎生は減っているとのこと。これはどういうことだろうか。私は地域の方の様々な支援をしているが、本校の卒業生で、家庭で育った方で、生活リズムが整わず、お金の管理も難しい方がいる。しらゆりさんなどから、寄宿舎を利用した生徒さんは、生活面で非常に優秀であると聞く。寄宿舎の教育的効果を感じることもある。保護者の方に、特別支援学校を選択した理由と、寄宿舎の教育的効果についてお聞きしたい。

〈岩崎委員〉現在高等部2年生の息子は、小学校は地域の小学校の特別支援学級へ通った。特別支援学級は8名の児童に対し教員1名の配置である。小学校は15名に2名の教員で対応しており、先生のやりたいことができない状況であった。保護者としては、学校での活動は物足りないと思っていた。中学校は地域の学校ではついていけないだろうと山田特別支援学校を推薦された。寄宿舎に入り、力が伸び、できることが増えたので感謝している。本人も入舎して楽しく過ごしている。成長を実感している。

〈高橋校長〉インクルーシブ教育の流れは変わっていない。学びの場は、特別支援学校、特別支援学級、通級、通常学級と、児童生徒の実態に合わせて学びの場はある。以前は特別支

援学校を敬遠する保護者が多かったが、専門性を考えて、特別支援学校を希望する方が増えてきた。ニーズの高まりはあるが、障害の程度で特別支援学校に該当していないと、特別支援学校には入学はできない。本校の寄宿舎については、今年度非常に減っている。要因としては、スクールバスが充実していることと、児童生徒は家がいいという声があるからだと思われる。

〈岩崎委員〉寄宿舎を希望しても断られた保護者もいる。基準が厳しくなっているのかもと思う。

〈高橋校長〉入舎基準はある。寄宿舎は通学困難であることが第一次的な理由である。

〈副校長〉高等部生は、社会に出て自立することを考えて、希望があれば入舎する場合もある。

〈濱田委員〉以前は障害が軽度の方を受け入れていたが、ここ最近は障害が重い方を受け入れている。生活については、学校で教育されているのでなんとかできてきている。発達障害の方が増えてきた。職員が発達障害に対応ができていないため、研修を積んでいる。学校と連携をして行っていきたい。

〈岡田会長〉会計年度任用職員が21人いるが、多いと思うがだいたいこのような数か。

〈副校長〉寄宿舎の職員が10名ほどいる。学校の児童生徒数によって配置されている。

〈岡田会長〉学校経営で一番心配なのは、コロナ禍で学校運営をどのようにしていくかだと思うが、田上さんからご教示いただけますか。

〈田上委員〉ウィズコロナをしながら、徐々にフェードアウトしていくことになると思う。その時期がいつになるかわからないが、まだしばらくは続くのではないと思われる。今まで過剰に制限がされていたように思うが、今後は基本的な感染対策をしながら、できることを行っていけばよいと思う。ウィルスは常に変化している。限りなくインフルエンザに近づきつつある。最初のころは、若い人でも重症化することもあったが、今はほとんどないので、学校の児童生徒さんが重症化することはほとんどないと思われる。高齢者はまだ重症化する危険性は高いが、高齢者が重症化する割合が低くなれば、インフルエンザに近づくとと思う。今、島根県出雲市で感染者が増えている。要因としては、ワクチンの効果が切れてきたことや、若い世代のワクチン接種が進まないこと、感染対策がゆるんできたことなどで感染が増えていると考えられる。第7波は遠くないと思う。

〈副校長〉学校では、調理学習を全くしていない。高等部の職業科で食品加工に取り組んでいるが、リスクが高いと考えて今は全く行っていない。調理を行って構わないか。

〈田上委員〉調理は行って構わない。基本的には、過密を避け、換気、マスク、しゃべらない、手指衛生、加熱、黙食に気を付ける。

〈副校長〉作ったものを販売するは大丈夫か。

〈田上委員〉食品を介して感染することは無い。

〈濱田委員〉これまで外出は避けていたが、少しずつ外出も考えている。障害特性上、コロナに感染したら施設で見るようにいわれているので、プレハブを建てている。

〈田上委員〉若い方たちは重症化しないが、高齢者が問題となる。体調が悪い場合は入院する方向で考えているが、やむなく入院できない場合は、医療体制を整え、ドクターや看護師の支援が受けられるようにしなければならない。

〈濱田委員〉外出することは控えている。外出する場合も、人がいないところへ行くようにしている。

〈田上委員〉外へ出ることは全く問題はない。家にこもることで問題も出てくる。学校で清掃活動を行っているが、清掃活動など、外で行うことは構わない。外ならマスク無しでよい。接触

感染に敏感になり過ぎている。基本は飛沫感染である。感染対策を過度にやり過ぎていることがある。高齢者施設で面会を止められているが、対策を取れば可能であるのに、なかなか実現できていない。ゼロリスクを求めると限りなく制限されるが、一定許容する判断をしないと、ウイズコロナはできない。

〈秋友委員〉入所型の障害者施設では感染対策で事務作業が非常に煩雑になる。

〈田上委員〉利用者の特性によって、感染対策ができないことがある。エリアを決めて広がらないようするしかできない。

〈岡田会長〉「地域とつながる」ことについては、私は人権擁護員をしているが、この前、佐藤支局長が特別支援学校の高等部生徒が宝町公園の清掃に行っていたことに非常に感激されていた。近くなのにつながりができていなかった。ぜひ今後とも山田特別支援学校と香美市教、人権擁護機関と連携を図りたいと言っていた。外へ出て活動されると、いろいろな人が見ていてつながりが広がっていくと思うので、是非ウイズコロナであってもできることはやってほしいと思う。

〈白川委員代理秋月氏〉小中学校もインクルーシブ教育で障害のある児童生徒が入学して来るが、学校で対応が難しいと思われるお子さんも入学されるので、その際は、特別支援学校の先生方の協力もお願いしたい。

〈岡田会長〉山田特別支援学校は最後にここに託すというラストホープと、最近では専門の教育を受けさせたいため最初から託したいというファーストホープと二つがあるので、特別支援学校はその思いを受け止めて今後ともご尽力いただきたいと思う。

5 閉 会

〈高橋校長〉本来なら、授業を見ていただきご意見をいただきましたかったが、台風で休校になったためできなかった。次の機会にお願いします。本日、いろいろなご意見をいただけたので、子供たちがしっかり学んでいけるように精一杯取り組んでいきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします